2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221332066	栄養カウンセリング論 Nutritional Counselling	鈴木祥子		専門	2	必修	3後期

科目の概要

管理栄養学科のディプロマポリシー（DP2、DP3）である管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することができる人材を育成する科目として設定している。カウンセリング論では心やストレスの仕組みを知るとともに、自己分析を行い、クライアントの気質や気持ち、感情のメカニズムを理解する。また個人が経験から学習した行動によって、形成・維持されていくライフスタイルに焦点をあて、栄養教育への適応・実践へ向けて行動療法の科学的技法を理解し、行動変容への効果的な栄養面談法を習得する。栄養教育論Ⅱ、栄養教育論実習Ⅱで獲得した技能（食育と食環境を整えるための高度な知識とライフステージ毎の栄養教育に関する知識）を活用し、さらに「食」の専門家としてと人々の日常生活を健康の面から支援するために精神面から支えることのできる人材を育成する。

学修内容	到達目標
① カウンセリングの定義、基本理論を学ぶ ② 心、ストレスの仕組みや心理的アセスメントを学ぶ ③ 自己分析法、気質について学び他者（クライアント）への理解を学ぶ ④ 保健行動科学の基礎理論などを通して健康や病気をめぐる人間の行動について理解を深め、行動変容につなぐための方法を学ぶ ⑤ 傾聴力、共感力を実践から身につけ、行動変容へ導くためのプロセスを学びそれらを発表する能力を身につける	① カウンセリングの定義、基本理論など意味を理解できる ② 心の仕組みを知り、心理的アセスメントができる ③ 自己分析法を活用し自己を知り、他者を理解できる ④ 保健行動科学の基本的概念や行動の捉え方を基にカウンセリングができる ⑤ 栄養カウンセリングについての理解を深め、行動変容につなぐための方法を基にわかりやすく発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる
	働きかけ力	
	実行力	成果に喜びを感じ、目標達成に向かい粘り強く取り組みを続けることができる
考え抜く力	課題発見力	現状を正しく把握し、情報収集や分析をして課題を明らかにすることができる
	計画力	
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を生み出すことができる
チームで働く力	発信力	相手がどんな情報を求めているかを理解し、具体的にわかりやすく伝えることができる
	傾聴力	相槌や共感等により、相手に話しやすい環境を作るとともに、素直に聞くことができる
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	ルールを把握し、そのルールや約束を守ることができる
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

栄養カウンセリング論（化学同人）
エッセンシャル栄養教育論（医歯薬出版）

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】
管理栄養士への道　健康管理概論　解剖生理学Ⅰ・Ⅱ　生化学Ⅰ・Ⅱ　食品学Ⅰ・Ⅱ　基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ　食事摂取基準論　栄養管理プロセス論
応用栄養学Ⅰ・Ⅱ　公衆栄養学Ⅱ　公衆栄養学実習　臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ　臨床栄養学実習　栄養教育論Ⅰ・Ⅱ　栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ
【資格との資格との関連】
栄養士　管理栄養士　栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
自己理解することで他者を理解することができます。栄養カウンセリングを学ぶことで、人間の気質や本質を知ることができ、QOLや心への配慮をしつつ、クライアントの行動変容へつながる十分な助言やサポートができます。	栄養教育論Ⅰで学んだ技法、Ⅱで学んだライフステージ毎の栄養教育の方法が役立つため、しっかり復習しておきましょう。ペアやグループで話し合うことがあるので、積極的に意見を発信し、また傾聴力を養いましょう。 レポートは期日を必ず守りましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓			気持ちや感情のメカニズムへの理解、行動科学療法の理論、栄養カウンセリングについての理解ができているかを問う ※なお、試験問題は国家試験問題に準拠して作成する
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	20	①	✓			授業中に課すレポートを適切な形で作成することができる（4枚×5点） 【評価基準】 ・ワークシートの適切な箇所に適切な項目を記載できている ・自身の考えを明確に説明することができている ・誤字脱字がなく、きちんと自身で見直したと評価できる 等の項目を総合的に判断する
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			グループ発表の相互評価の得点及び教員による得点にて評価する（相互10点、教員10点） 【評価基準】10点（相互評価は最も多い回答を採用） ・内容に創意工夫が見られる ・参加者として何を必要としているかを演じることができている ・行動変容段階に応じた技法を取り入れている ・声の大小や抑揚が聞き取りやすい ・話すスピードが対象者にとって適切である ・会話がスムーズに進行している ・言葉遣いが適切である ・時間配分が適切である ・教室や会場の雰囲気づくりが出来ている ・質問に対して適切な回答が出来ている 各1点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）自発的に取り組むことができる （実行力）粘り強く取り組むことができる （課題発見力）情報収集や分析をして、課題を明らかにすることができる （創造力）作成する資料の新規性に富んでいる （発信力）グループワークで、積極的に意見を発信できる （傾聴力）相手の話をよく聴くことができる （規律性）授業が円滑に進行するように、ルールを守ることができる
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
保健行動科学の基本と応用が完全に理解できており、心やストレスの仕組み、栄養カウンセリングの流れを適切に説明することができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。	保健行動科学の基本と応用、心やストレスの仕組み、栄養カウンセリングの流れについて理解でき、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解するとともに、カウンセリングの必要性やカウンセリングを行う上での態度と倫理を考える	講義 Google Classroom	栄養カウンセリングの必要性が理解できる	予習：栄養カウンセリングについて調べておく 復習：栄養教育と栄養カウンセリングの関係性をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「栄養カウンセリングの基本理論」 栄養カウンセリングの目的、基本的技法の復習、基本的技法の体験	講義 演習 Google Classroom	基本的技法の実践を通して、グループワークで積極的に発言でき、他者の話を傾聴できる	予習：栄養カウンセリングの基本的技法について調べておく 復習：自己分析で自己を振り返る	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「行動変容の基本的概念」 行動変容の概念と行動科学の理論やモデルの関係性を理解する	講義 演習 Google Classroom	行動変容に必要な基本的概念を理解する	予習：行動変容で用いられる基本的概念と行動変容のステージについて調べておく 復習：行動変容のステージと行動変容のプロセスについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「行動変容に必要な技法」 行動変容に必要なおもな技法を基本的概念と結びつけて理解する	講義 演習 Google Classroom	行動変容の技法の活用方法を理解する	予習：行動変容の技法について調べる 復習：行動変容の技法と基本的概念の関連性について事例を踏まえてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「栄養カウンセリングの流れ」 効果的に栄養教育を実施するための適切な流れと方法を学修する	講義 演習 Google Classroom	栄養カウンセリングがどのような手順で進んでいくかを理解できる	予習：栄養カウンセリングの技法や行動変容の技法について復習してくる 復習：栄養カウンセリングの流れをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「行動変容段階に応じた栄養カウンセリング」 行動変容の準備性に応じて用いるカウンセリング技法について学修する	講義 演習 Google Classroom	各行動変容に応じた適切なカウンセリング技法を説明できる	予習：行動変容技法について復習してくる 復習：それぞれの行動変容段階に用いる適切な技法をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「ライフステージ別栄養カウンセリング（妊娠期・乳児期）」 症例を基に栄養カウンセリングで得られた情報を整理する	演習 ペアワーク Google Classroom	得られた情報を栄養士の視点から適切にまとめることができる	予習：栄養教育論Ⅱ、栄養教育論実習Ⅱで学んだ妊娠期・乳児期の栄養教育を復習する 復習：授業で学んだ応用の実践法をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ライフステージ別栄養カウンセリング（幼児期・学童期）」 症例を基に栄養カウンセリングで得られた情報を整理する	演習 ペアワーク Google Classroom	得られた情報を栄養士の視点から適切にまとめることができる	予習：栄養教育論Ⅱ、栄養教育論実習Ⅱで学んだ幼児期・学童期の栄養教育を復習する 復習：授業で学んだ応用の実践法をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ライフステージ別栄養カウンセリング（思春期・成人期）」 症例を基に栄養カウンセリングで得られた情報を整理する	演習 ペアワーク Google Classroom	得られた情報を栄養士の視点から適切にまとめることができる	予習：栄養教育論Ⅱ、栄養教育論実習Ⅱで学んだ思春期・成人期の栄養教育を復習する 復習：授業で学んだ応用の実践法をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ライフステージ別栄養カウンセリング（成人期・高齢期）」 症例を基に栄養カウンセリングで得られた情報を整理する	演習 ペアワーク Google Classroom	得られた情報を栄養士の視点から適切にまとめることができる	予習：栄養教育論Ⅱ、栄養教育論実習Ⅱで学んだ成人期・高齢期の栄養教育を復習する 復習：授業で学んだ応用の実践法をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「臨床現場における栄養カウンセリング①」 症例を基に患者情報の整理をする ロールプレイの資料作成を行う	演習 グループワーク Google Classroom	得られた情報を栄養士の視点から適切にまとめることができる	予習：症例を確認し患者情報をまとめておく（グループワークの準備） 復習：発表の資料準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「臨床現場における栄養カウンセリング②」 作成した資料を基にロールプレイを行う	演習 グループワーク Google Classroom	得られた情報を栄養士の視点から適切にまとめることができる	予習：発表の資料準備 復習：ロールプレイから気づいたことををまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「グループカウンセリングを用いた栄養カウンセリング①」 症例を基に参加者の予想される反応・答えを想像して行動変容ステージを考え、グループカウンセリングでの注意点や工夫点を資料にまとめる	演習 グループワーク	グループカウンセリングのメリットとデメリットを理解することができる	予習：集団に対する栄養教育について復習する 復習：発表の資料準備	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「グループカウンセリングを用いた栄養カウンセリング②」 作成した資料を基に発表する	演習 グループワーク Google Classroom	わかりやすい発表ができ、他の発表との違いを適切に評価できる	予習：発表の資料準備 復習：他のグループと自分のグループとの違いについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「電話や電子メールによる支援」 電話やメールによる非対面のカウンセリングにおいて配慮すべきマナーやこれまでに学修した内容の非対面への応用について理解する	講義 Google Classroom	電話や電子メールを用いた栄養カウンセリングの特徴を理解する	予習：特定保健指導の支援方法について復習する 復習：対面・非対面の栄養カウンセリングのちがいについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力